

SDGs マルシェ 盛況 ものづくり体験やグルメ販売

大垣公園

環境に配慮したものづくりのワークショップや地産地消のさまざまなグルメが楽しめるイベント「SDGs つながるマルシェ」が、

大垣市郭町の大垣公園で開かれ、多くの家族連れなどでにぎわった。
大垣西濃信用金庫、JPCoach&コンサルティン



SDGs つながるマルシェを楽しむ来場者
＝大垣市郭町、大垣公園

グ、東京海上日動火災保険が、地元事業者と住民が「つながる」ことをコンセプトに開催。約50店舗のブースが登場した。

来場者は、新鮮な野菜や果物のほか、さまざまな加工品を見て、触れて、味わって、持続可能な開発目標(SDGs)を体験。会場では家庭の使用済み油や、古本も回収した。

大垣商業高校(同市開発町)もブースを出し、生徒がエビチリドッグを販売。3年の伊藤楓さん(17)は

「お昼には完売してしまい、盛況でうれしかった」と振り返った。(武藤直子)